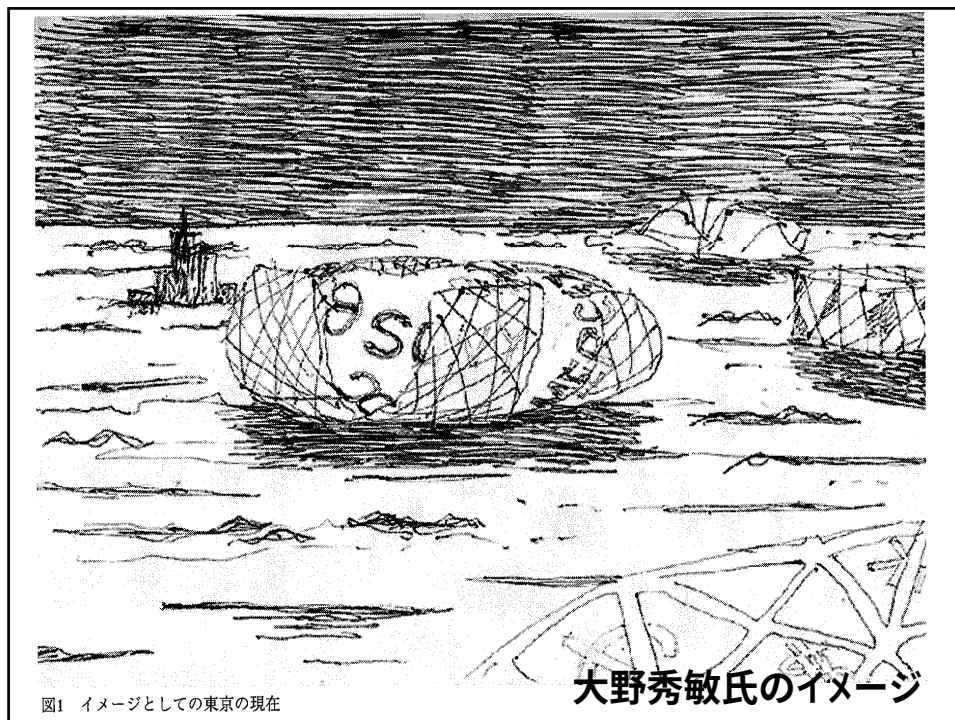


地域ヴィジョンの 構築と実現のための 景観計画

早稲田大学創造理工学部
社会環境工学科

佐々木 葉





「景観計画」に対する問題意識

1. 景観は表層の美醜にとどまらない
→ 電線と看板と建物ファサードの議論の限界
2. 「景観地区」＝「輝く島」という現実を直視
→ 輝く島以外の暗黒の海はどうするのか？
暗黒の海に浮く輝く島は持続できるのか？

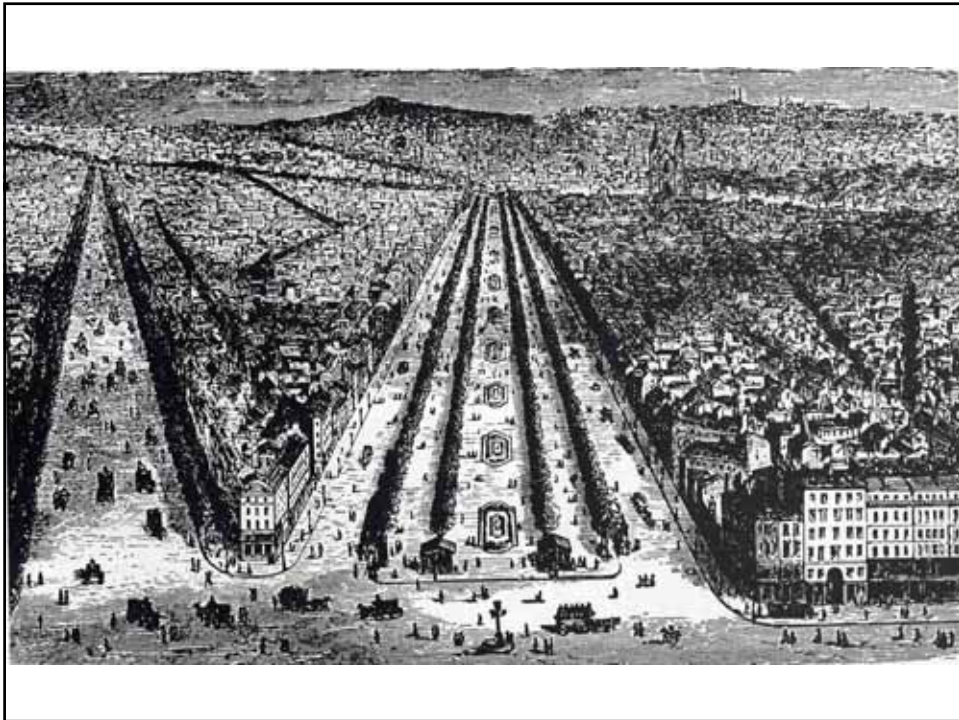
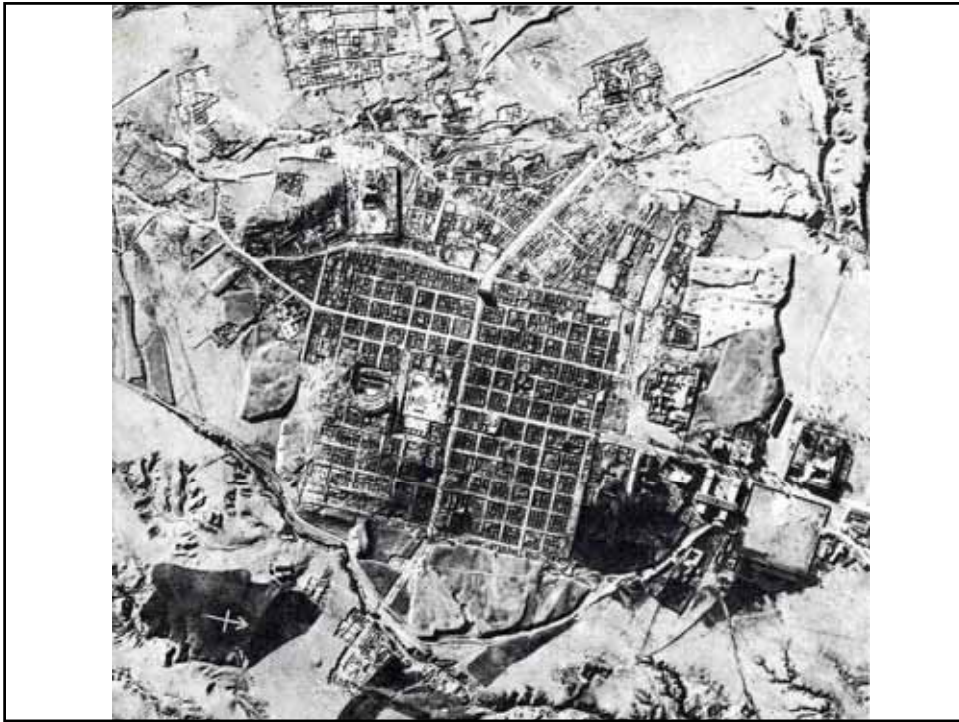






civitas urbs

**計画すること
建設すること
つかさどること**

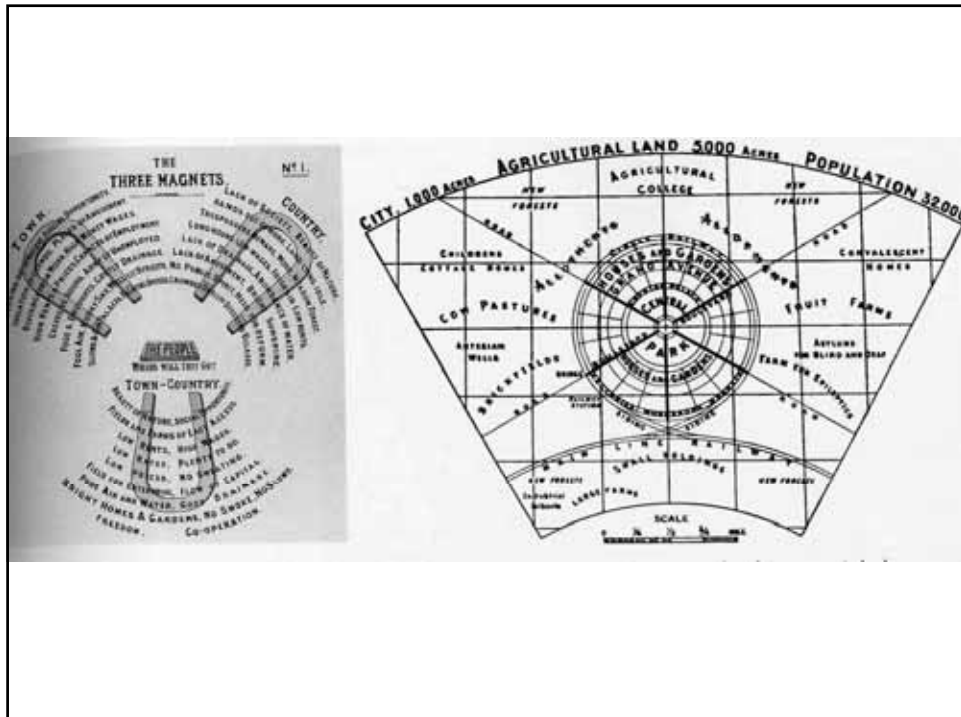


近代的都市計画

要因の多元化
関係の複雑化
規模の拡大



抽象化して扱うこと





実体の観察・抽象化



抽象化されたモデルの計画



それをもう一度具体化すること

urban design

21世紀

視点の相対化

空間的

文化的

社会的

視点の霧散化・場所からの遊離

21世紀の「計画」概念と手法

- 具体化の側面
 - 古典的景観デザインの有効性は？
- 抽象化の側面
 - 古典的？土木計画？ の有効性は？

いま考えたいこと

- 問題解決としての手法ではなく
ビジョン構築としての手法



ビジョンとしての地域イメージを描くこと

ことば＋視覚像 ←

密度
サイズ・スケール
流れ・速度
生産量・消費量
時間・サイクル……

一目で・感じられ・共有しやすい目標像



「間にある都市」の イメージの評価 7項目

- ①分業が効果的となる連続的な性格地域
- ②フレキシブルなライフスタイルの許容
- ③アイデンティティを強めリアリティのある「場」を内包
- ④環境問題に取り組むために必要な地域の関係性理解可能
- ⑤格差による断片化の回避
- ⑥外部・内部の良好な交通ネットワークによるアクセス確保
- ⑦帰属意識を醸成する推進策

創造都市の要件

「創造都市への展望」佐々木雅幸

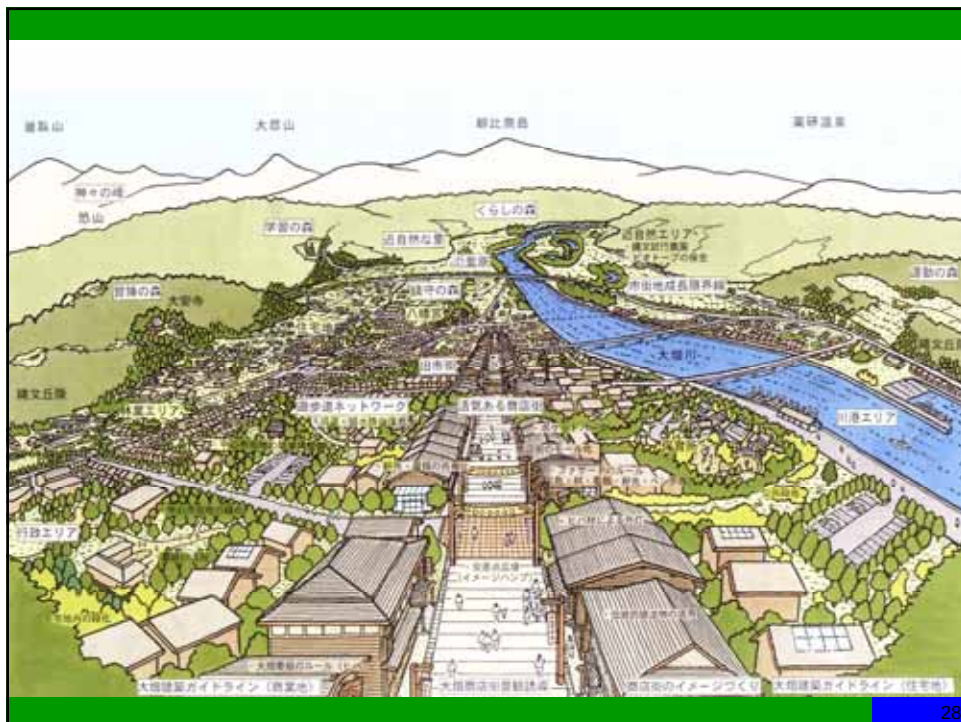
- 芸術家・科学者の自由な創造活動+労働者・職人のフレキシブルな生産
- 文化施設の整備
- 産業発展が住民の生活の質の改善へ・福祉
- 都市景観の美しさ
- 行政への住民参加・狭域自治と広域的環境管理
- 独自財源と政策形成能力の高い自治体職員

Principles for progressive urban design by E.RELPH

- ① A precautionary principle 悪化の予防措置
- ② Equity 機会均等とアクセシビリティ確保
- ③ Inclusion 多様な文化と社会集団の包含
- ④ Sustainability 環境の持続可能性と生産性向上
- ⑤ Global interconnection
地域間・地域と地球レベルの結合
- ⑥ Temporality
現在と未来の投資に過去を過大評価しない
- ⑦ Attractiveness 視覚的魅力を高めること

Keyword

- 成長限界線
- 氾濫原
- 森 (緑の死角)
→魚付林の形成
- 山 - 川 - 海のつながり



地域マネジメントとしての景観計画

ビジョン

- 地域社会像 人口構成・生産性・コミュニティ
- 地域環境像 自然環境・自然災害
- 地域資源像 水資源・エネルギー資源・食料
- 地域文化像 文化活動・教育・人材

社会基盤と空間計画

- インフラ計画・土地利用計画

手法

- 計画単位／構造化／人材・組織／表現・・・